

## 第 7 章 教育研究等環境



1. 現状の説明

(1) 学生の学習や教員による教育研究活動に関して、環境や条件を整備するための方針を明示しているか。

【評価の視点】

○大学の理念・目的、各学部・研究科の目的等を踏まえた教育研究等環境に関する方針の適切な明示

《大学全体》

1) 大学全体として、「教育研究等環境の整備に関する方針」を定め、ホームページに掲載している。本学の理念・目的を実現でき、国際的研究・教育・臨床拠点にふさわしいキャンパス環境整備に向けて施設充実を図るとともに、地球温暖化等の環境悪化に配慮し、施設設備の適切な維持管理と有効活用を推進していくことを基本方針としている。「大学キャンパス・ホスピタル再編事業」、「施設・設備の維持管理」、「教育研究環境の整備」、「ICT 教育研究基盤整備」の項目について、それぞれ方針をまとめている。

(資料7-1 順天堂ホームページ 「情報公開(基本情報)」 「各種方針」 「教育研究等環境の整備に関する方針」)

《大学キャンパス・ホスピタル再編事業について》

1) 大学キャンパス・ホスピタル再編事業については、以下の方針を明示している。

・ 創立 175 周年記念事業として「大学キャンパス・ホスピタル再編事業」を推進し、各キャンパス・附属病院群の施設・設備の再整備と拡充を図り、全学に亘る教育・研究・臨床活動の更なる向上を目指します。  
 ・ 新たに建設する建物は、「100 年建築」、「他の範となる病院建築」、「エコロジー建物」を基本コンセプトとし、先進的なエコロジー技術を導入したエコキャンパス・エコホスピタルを実現し、安全・快適・安らぎのある癒しの空間を創出する環境整備を行います。

2) 再編事業は、建物の解体を伴うため、施設内の機能を他の建物へ移転させ（原形質流動）、病院の稼働率維持と教育研究活動の継続性を確保するように努めている。また、同事業により、本学の財務構成が悪化しないよう、事業原資は手元資金で賄うこととしている。

3) 本郷・お茶の水キャンパスにおいて、キャンパス機能・病院機能の再編を進めており、医学部附属順天堂医院 2 号館の建替え及び大学本部、大学院や医学部教学部門のセンチュリータワーへの集約が完了した。現在、国際的な研究・教育拠点となる新研究棟（A 棟）の建設計画を進めている。

《施設・設備の維持・管理について》

1) 施設・設備の維持・管理については、以下の方針を明示している。

学生や教職員等にとって安全・安心で利用しやすい施設・設備を整備し、適切に維持管理を行うことにより教育研究環境を向上させることを基本方針とします。

1. 建物の基本性能として、キャンパス内建物の構造耐震化はすべて完了していることから、今後は、防災機能などの性能向上を図ります。震災時の被害軽減のため家具の固定を進め、天井等の非構造部材についても、耐震性能を調査し、必要に応じて対処していきます。
2. 学生数の増加、研究の高度化・多様化に対応する教育研究施設の整備を行います。
  - ・ 本郷・お茶の水キャンパスでは、研究棟の再整備に着手しています。
  - ・ さくらキャンパスでは、学生寮を増築整備し、共同生活で得られるコミュニケーションや協調性、他学部との交流を強化していきます。また、体操競技場や陸上競技場などの整備を充実させ、グローバルに活躍する人材を育成する環境・設備を整えていきます。

## 第7章 教育研究等環境

3. 日常の維持管理は、外部委託を活用し、専門性の高い設備運転、保守点検等により、快適な学習、研究、医療環境を提供するとともに防災機能の維持、事業継続計画の強化・見直し及び省エネルギーの推進を目指します。
4. 地球温暖化対策として、CO<sub>2</sub>排出量管理、フロン管理、廃棄物管理など地球環境負荷低減への取り組みを継続します。
5. キャンパス内の階段や段差個所には、スロープやリフトを設置し、教室においても車椅子の学生が受講出来るようにバリアフリー化を継続的に推進します。

### 《教育研究環境及び ICT 教育研究基盤整備について》

1) 教育研究等環境の整備については、以下の方針を明示している。

- ・ 高い教育効果が得られ、学生が主体的に学修を進められるよう ICT 環境及びグループワークエリアを整備します。
- ・ 国際的研究・教育拠点として、先端のかつ学際的な異分野融合型の研究を推進し、学術の進展や社会と産業界の要望に柔軟に対応できるよう、本郷・お茶の水キャンパスに新研究棟を建設し、最先端の教育研究機器を導入します。
- ・ SA・TA・RA を拡充するとともに知財担当や URA 等の研究支援要員も適切に配置し、教育研究支援体制を整備します。
- ・ 研究倫理遵守に関する教育・研修を行うとともに各種規程に基づき研究費の適正な執行と管理を行う体制を整備します。

2) ICT 教育研究基盤整備については、以下の方針を明示している。

- ・ ICT を活用した授業を展開するとともに、双方向授業によるアクティブ・ラーニングを推進するために情報基盤整備を行います。
- ・ 無線 LAN 接続環境を整備するとともに、キャンパス間ネットワークの充実を図り、ネットワーク環境を整備します。
- ・ 情報セキュリティを整備し、情報の保全及び管理を行います。

3) ICT 化教育研究基盤整備に関する方針として「順天堂大学 ICT 化戦略」を定めている。グローバルな視点から積極的に社会にかかわり、世界的な研究・教育・臨床拠点として、次世代をリードする諸活動を展開するために基盤整備を行っていく。

(資料 7-2 順天堂大学 ICT 化戦略)

### 《各学部・研究科における教育研究等環境整備に関する方針について》

1) 各学部・研究科では、教育・研究上の特性を考慮し、それぞれが教育研究環境整備に関する方針を定めている。

(資料 7-3 各学部・研究科の教育研究等環境整備方針)

## (2) 教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地及び校舎を有し、かつ運動場等の教育研究に必要な施設・設備を整備しているか。

### 【評価の視点】

#### ○施設・設備等の整備・管理

- ・ 情報通信技術 (ICT) 等機器・備品等の整備
- ・ 施設・設備等の維持・管理、安全・衛生の確保
- ・ バリアフリーへの対応や利用者の快適性に配慮したキャンパス環境整備
- ・ 学生の自主的な学習を促進するための環境整備

#### ○情報倫理の確立に関する取り組み

## 第7章 教育研究等環境

### 《大学キャンパス・ホスピタル再編事業について》

- 1) 法人本部に大学キャンパス・ホスピタル再編事業事務局を置き、各地区の中長期教育研究環境整備計画案の実行を組織的に支援している。キャンパス周辺の土地・建物等の取得の必要性の精査及び取得手続きを支援している。
- 2) 2011年に新病院（B棟）着手以降、「原形質流動」を基本方針として、再編事業期間中に購入したセンチュリータワー、御茶の水センタービル等のサテライト建物を利用して、「ビルド&スクラップ」させながら診療・教育・研究機能のActivityを低下させることなく、マスタースケジュールに沿って、新築・改修工事を進めている。2011(平成23)～2016(平成28)年度の不動産取得の実績は下表の通りである。(単位：㎡)

年度	土地面積	建物延べ面積
2011(平成23)年度	2,287.02	7,897.78
2012(平成24)年度	11,090.49	7,594.70
2013(平成25)年度	11,467.11	5,892.90
2014(平成26)年度	2,166.98	2,625.37
2015(平成27)年度	449.74	1,069.06
2016(平成28)年度	1,106.16	1,278.03
6年間合計	28,567.50	26,357.84

- 3) 順天堂医院（本院）については、世界に誇れる時代をリードするエコホスピタルの新築工事は完了し、供用開始している。引き続き、2017年3月から約2年間で1号館外来・病棟部分の整備工事に着手している。

B棟（免震建物）	高層棟	2013	（平成25）年	12月	竣工
	低層棟	2016	（平成28）年	4月	竣工
C棟		2016	（平成28）年	8月	竣工
D棟		2014	（平成26）年	5月	竣工
連絡通路	B棟-1号館上空通路 B棟Ⅱ期-9号館間の上空通路 C棟・D棟間の連絡通路（地上・地下） 1号館-C棟間接続通路(13箇所)				
レスポワール湯島寮		2015	（平成27）年	7月	竣工

- 4) B棟は、日本の建築環境総合性能評価システム（CASBEE）評価で最高位のSランク基準で建築した。また、米国の建築環境性能評価システム（LEED）において、病院では国内初のゴールド認証を獲得した。
- 5) 本郷・お茶の水キャンパスの教学部門の主な整備状況は以下の通りである。
  - ・2012(平成25)年度～2013(平成26)年度にセンチュリータワーへ教学部門、法人部門、サーバーの機能移転を行うための整備工事を実施し、日本医学教育歴史館をセンチュリータワー17階へ設置し開館した。
  - ・国際教養学部開設に伴い、新規に取得した建物を第2教育棟（仮称）として2015(平成27)年3月に整備完了した。
  - ・2016(平成28)年度からの大学院医学研究科定員増に対応するため、2015(平成27)年8月、

## 第7章 教育研究等環境

160名を収容できるよう既存教室の拡張工事を行った。

6) 新研究棟の整備状況については、7号館・8号館の教育・研究機能移転が完了して、その跡地を解体して、Ⅰ期工事（2018(平成30)年12月竣工予定）に着手した。Ⅰ期完成後、9号館機能を移転後に9号館を解体し、明治期に建設された順天堂医院の歴史的ファサードを再現するⅡ期工事（2020(平成32)年7月竣工予定）を予定している。

7) 他キャンパスの主な整備状況は以下の通りである。

- ・2013(平成25)年度 さくらキャンパスのグラウンド人工芝化、水泳プールの屋内化工事
- ・2014(平成26)年度 さくらキャンパスの陸上競技場トラックの改修工事
- ・2015(平成27)年度 浦安キャンパスの校舎増築工事
- ・2016(平成28)年度 さくらキャンパスの女子寮、体操競技場（OGAWA GYMNASTICS ARENA）新築

8) 分院の主な整備状況は以下の通りである。

- ・2016(平成28)年度 高齢者医療センター増床に伴う改修工事

### 《大学設置基準上必要な校地・校舎について》

1) 大学全体では、大学設置基準上の必要校地（68,484 m<sup>2</sup>）に対し（294,357 m<sup>2</sup>）で4.30倍の校地を保有しており、同基準上必要校舎（75,895 m<sup>2</sup>）に対し（92,808 m<sup>2</sup>）で1.22倍の校舎を保有している。大学全体及び各キャンパスにおいて、大学設置基準を上回っている。

### 《施設・設備の維持・管理について》

- 1) 防災機能の維持については日常的な管理に加え、年2回の消防設備点検を実施しており、検出された軽易な不具合は速やかに修繕している。また、震災被害軽減のため、転倒の恐れがある家具の固定を進めている。大学中枢施設であるセンチュリータワーは独特の構造を有することから、加圧防排煙システムをはじめとした特殊な防災設備を備えており、その性能維持のための大規模改修が必要となっている。今後2年間を目処に工事完了の予定である。
- 2) 建築基準法、消防法等による建築、設備に関する法定点検・報告はもとより日常的な保守点検による故障の回避、安全の確保に努めている。空気環境測定、飲料水水質検査等、基礎的な衛生環境測定を行うことにより環境維持に努めている。
- 3) 各キャンパスの施設・設備の維持・管理・運営は、各事務部門が責任部署となっており、専門性が高い施設・設備の維持管理及び清掃や産業廃棄物の処理等の業務は外部委託している。毎月、委託業種毎に、業務評価委員会を開催し、業務の適切性について検証している。
- 4) 「省エネルギー法」に基づき、CO<sub>2</sub>の排出量を減らすために省エネルギー推進委員会を設置し、省エネルギー推進活動に取り組んでいる。本郷・お茶の水キャンパスは東京都の「総量削減義務と排出量取引制度」の適用を受けており、削減目標達成に向け設備投資計画を含む地球温暖化対策計画書を作成している。照明のLED化、動力・熱源機器の高効率化などハード面の対策を進めるとともに、全学的に教職員の省エネ啓蒙に努めている。

### 《教育研究環境及びICT教育研究基盤整備について》

1) 2016(平成28)年度に整備した大型の研究装置、研究設備及び防災機能等強化は次のとおりである。本学の複数の研究者が幅広い研究用途で使用できるよう共用設備を充実させ、新研究棟の防災機能強化のための耐震工事を行った。

(1) 研究設備

- ①3500 ジェネティックアナライザ

(2) 防災機能等強化

①順天堂大学キャンパス・ホスピタル再編事業（仮称）新研究棟建設

2) 2016（平成 28）年度に戦略的研究基盤形成支援事業及び私立大学研究ブランディング事業において整備した大型の研究装置及び研究設備は次の通りである。各プロジェクトの遂行に必要な研究装置・研究設備を整備し、効果的に活用できるよう体制を構築した。

(1) 静岡災害医学研究センター

①Illumina 次世代シーケンサー next seq 500

(2) 大学院医学研究科老人性疾患病態・治療研究センター

①カールツァイス超解像レーザー स्क्यान顕微鏡 LSM880

（資料 7-4 平成 28 年度 教育・研究装置及び教育基盤・研究設備一覧）

3) 2015（平成 27）年 10 月 7 日、本郷・お茶の水キャンパスのセンチュリータワー南棟 11 階に「Juntendo Medical & Technology Simulation Center」を開所した。当センターは、学生・医療従事者のスキルや多職種間でのチーム医療のトレーニングを通して、医療の質と患者安全を向上させることを目的として設立された。血管治療シミュレータ 2 台、腹腔鏡シミュレータ 2 台、子宮鏡シミュレータ 1 台、成人用患者シミュレータ、幼児用患者シミュレータ等を整備している。

4) 2015（平成 27）年 5 月、さくらキャンパスの陸上競技場の全面改修工事が完了し、国際陸上競技連盟（IAAF）が定める国際基準「class1」を満たし、国際大会にも対応可能な最高ランクの陸上競技場となった。

5) 2017（平成 29）年 1 月、さくらキャンパスの新女子学生寮（8 階建）新築工事が完了し、約 240 名を収容することが可能になった。

6) 2017（平成 29）年 3 月、さくらキャンパスの体操競技場の新築工事が完了した。

7) 本郷・お茶の水キャンパスでは、センチュリータワーを中心として大教室、中教室、小教室に AV 設備を完備している。その他、マルチメディア教室、形態系実習室、ラーニング・commons を設置している。各キャンパス相互に遠隔講義が実施できる遠隔講義システムを導入しており、資料配布システムの導入、センチュリータワー及び 10 号館の全館無線化によるモバイル対応、Gmail 導入によるクラウド活用を積極的に行っている。2016（平成 28）年度は、形態系実習室において脳解剖教育充実化のため MRA 画像の脳血管走行の学習用コンテンツの拡充を行った。

8) さくらキャンパスでは、大教室、中教室に AV 設備を完備している。マルチメディア教室を設置している。キャンパス間遠隔講義システムを導入している。2016（平成 28）年度は、スポーツ健康科学部の入学定員増に伴い、2 号館に AV 設備対応教室として中教室（4 室）、大教室（1 室）を追加整備した。

9) 浦安キャンパスでは、大教室、中教室、実習室に AV 設備を完備している。マルチメディア教室を設置し Call システムを導入している。キャンパス間遠隔講義システムや授業収録と連携したレスポンスアナライザーを導入している。

10) 三島キャンパスでは、大教室、中教室、実習室に AV 設備を完備している。マルチメディア教室を設置し Call システムを導入している。キャンパス間遠隔講義システムを導入している。

## 第7章 教育研究等環境

### 《各学部・研究科における教育研究環境整備状況》

1)各学部・研究科では、教育・研究上の特性を考慮し、十分な施設・設備を整備している。ラーニング・コモンズや ICT 環境の整備、自習室の運用上の配慮等、キャンパス・アメニティを高める各種取組みを行っている。

(資料7-5 各学部・研究科の教育研究等環境整備概要)

### 《情報倫理の確立に関する取り組み》

1)個人情報保護法により、個人情報の安全保護が求められていることから、関連規約を整備している。また、情報技術面(匿名化、暗号化)からの防衛策を展開している。公共性を有する大学として、情報に関する取扱い・管理を適正に行い、本学の信用を守り、社会からの一層の信頼を得るよう努めている。

(資料7-6 情報倫理ガイドライン)

(資料7-7 学校法人順天堂情報セキュリティポリシー)

(資料7-8 学校法人順天堂個人情報保護に関する基本方針)

(資料7-9 情報システム利用に伴う危機対応マニュアル)

(資料7-10 順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス学術ネットワーク運営内規)

(資料7-11 順天堂大学ソーシャルメディア利用ガイドライン)

### (3) 図書館、学術情報サービスを提供するための体制を備えているか。また、それらは適切に機能しているか。

#### 【評価の視点】

#### ○図書資料の整備と図書利用環境の整備

- ・図書、学術雑誌、電子情報等の学術情報資料の整備
- ・国立情報学研究所が提供する学術コンテンツや他図書館とのネットワークの整備
- ・学術情報へのアクセスに関する対応
- ・学生の学習に配慮した図書館利用環境(座席数、開館時間等)の整備

#### ○図書館、学術情報サービスを提供するための専門的な知識を有する者の配置

1)図書館は、東京都文京区にある医学部・国際教養学部・大学院医学研究科の本郷・お茶の水キャンパス学術メディアセンター(以下、本郷)と千葉県印西市にあるスポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科のさくらキャンパス学術メディアセンター(以下、さくら)、千葉県浦安市にある医療看護学部・医療看護学研究科の浦安キャンパス学術メディアセンター(以下、浦安)、静岡県三島市にある保健看護学部の三島キャンパス学術メディアセンター(以下、三島)から成る。図書や雑誌の所蔵確認や貸出返却等のサービス業務は、4キャンパス間でネットワークを配し、一括して運用している。資料の貸出返却等は各キャンパスどこからでも可能である。

(資料7-12 本郷・お茶の水キャンパス学術メディアセンター利用案内)

(資料7-13 さくらキャンパス学術メディアセンター利用案内)

(資料7-14 浦安キャンパス学術メディアセンター利用案内)

(資料7-15 三島キャンパス学術メディアセンター利用案内)

2)本学医学部附属病院について、順天堂医院以外の静岡病院、浦安病院、順天堂越谷病院、順天堂東京江東高齢者医療センター、練馬病院には、それぞれの病院図書室を置いている。本



## 第7章 教育研究等環境

郷が中心となってサービスを支援しており、附属病院からも学術メディアセンターのウェブサイトを利用できるようネットワークが構築されている。

- 3) 年間貸出冊数は、2013(平成 25)年から大きな変化なく推移し利用されている。近年電子ジャーナルの利用環境の整備に伴い、洋雑誌プリント版は減少しているが、電子化が進んでいない図書や和雑誌は引き続き利用されている。電子ジャーナルは、本郷が一括して利用の契約を行っている。4 キャンパスをはじめ各附属病院からも利用できる環境を整備している。
- 4) 学術メディアセンターの運営は、各学術メディアセンターに運営委員会を設置し、運営に係る事項の決定や雑誌・図書等の選定に当たっている。図書の選定に当たっては、各学部の教育要項や医学部の基礎・臨床統合講義集に収載の図書を購入手、授業等の活用と予習復習ができるよう整備し、サービスに努めている。電子ジャーナルの購入は、定期的なアンケート調査に基づき利用頻度や購入価格を考慮し、新規ジャーナルの収集に努めている。電子ジャーナルは、資料購入費の約9割以上を占め、毎年10%前後値上がりしているが、NPO法人日本医学図書館協会と大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)に加盟しており、共同購入方式を活用し適正価格での購入を図っている。
- 5) 図書、資料の所蔵数は次表のとおりである。

(資料7-16 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況)

キャンパス	図書冊数	定期刊行物の種類	視聴覚資料の所蔵数
本郷	127,592	3,307	198
さくら	110,863	1,505	1,721
浦安	34,223	195	1,188
三島	15,808	193	677
合計	288,486	5,200	3,784

- 6) 過去3年間の図書受け入れ状況は次表のとおりである。本郷は国際教養学部の基本図書の受入のため増加している。さくらキャンパス、浦安キャンパス、三島キャンパスの減少は、洋雑誌プリント版から電子ジャーナルへの移行によるものである。電子ジャーナルは、29,068種類となっている。

キャンパス	2014(平成26)年度	2015(平成27)年度	2016(平成28)年度
本郷	671	1,500	1,309
さくら	663	622	596
浦安	643	711	354
三島	2,178	890	776
合計	4,155	3,723	3,035

- 7) 各キャンパスの学術メディアセンターの規模・設備等は、以下の通りである。

キャンパス	延床面積 $m^2$	複写機台数	端末機台数
本郷	1,164.08 $m^2$	6	26
さくら	944.38 $m^2$	2	21
浦安	615.59 $m^2$	3	28
三島	373.16 $m^2$	2	27

## 第7章 教育研究等環境

### (1) 本郷・お茶の水キャンパス学術メディアセンター

- ① センチュリータワー9階にあり、閲覧室、利用者用端末、新着雑誌、図書及び事務室が配置してある。センター内の窓際には個人用キャレルを設置してある。
- ② 入口には、入・退館システムを設置している。センター内には無線 LAN が設置してあり、利用者持参の PC が利用できる環境が整備されている。

### (2) さくらキャンパス学術メディアセンター

- ① 3階建ての独立棟で、1階には、書庫、グループ・ルーム、事務室がある。2階には新着雑誌、視聴覚資料、参考書、辞書類、一般図書と閲覧席、受付カウンター、ラーニング・commons、事務室がある。3階には学生図書、専門図書、閲覧席がある。
- ② 入口には持ち出し防犯ゲートシステムを設置している。センター内に無線 LAN を設置し、利用者持参の PC が利用できる環境が整備されている。
- ③ 1階グループ・ルームには、大型ディスプレイを備えたマルチメディア装置を設置している。
- ④ 教員・学生に要望調査を実施し、図書・学術雑誌・電子情報等の選定の参考としている。
- ⑤ 地域への開放については、公共図書館の紹介状と、本人確認書類を持参することにより、館内閲覧と複写サービスの利用を可能としている。利用方法について、ホームページ上で公開している。

### (3) 浦安キャンパス学術メディアセンター

- ① 正門脇の校舎の1・2階部分にあり、1階には、一般教養図書・新書・新着雑誌・視聴覚資料・辞書類・新聞の書架と、閲覧室、事務室があり、2階には、専門図書の書架と製本雑誌の移動式書架がある。
- ② 1階の閲覧スペースには、閲覧席60席、個人用キャレル15席（全席PC完備）を設置している。AV室には、個人視聴ブース3台、グループ視聴席6席、個人用キャレル9席、大型ディスプレイ、DVD・VHS再生機を設置している。
- ③ 2階にも、AV室があり、グループ視聴席10席、個人用キャレル15席、大型ディスプレイ、DVD・VHS再生機を設置している。2階の閲覧スペースは3箇所あり、閲覧用席24席、個人用キャレル10席、個人用ブース12席、PC用10席を設置している。
- ④ 看護学生が臨地実習で利用している順天堂医院、浦安病院、順天堂越谷病院、順天堂東京江東高齢者医療センター、練馬病院には実習用図書を設置している。

### (4) 三島キャンパス学術メディアセンター

- ① 校舎2階にあり、入口付近にはカウンターと事務室があり、奥には雑誌架・書架・移動書架がある。書架の傍らに学習用机、閲覧用椅子を設置している。
- ② センター内には、利用者用PCが27台設置されており、うち2台が蔵書検索専用である。他に職員業務用PCが3台設置されている。学習用机には電源があり、校舎全体に無線LANが設置してあり、利用者持参のPCを使用することができる。
- ③ 災害時の安否確認のため、学生が入館時に自身の在室を示すマグネットを貼り付けるホワイトボードを設置している。

## 第7章 教育研究等環境

8) 2016(平成28)年度のスタッフ配置及び利用状況は次表のとおりである。

キャンパス	専任スタッフ	非常勤スタッフ	開館日数	入館者数	貸出冊数(1日平均)
本郷	6(5)	2(1)	343	67,393	4,919(14.3)
さくら	2(2)	3(1)	276	50,113	3,552(12.9)
浦安	1(1)	2(1)	248	34,231	4,449(17.9)
三島	1(1)	0(0)	276	39,075	6,635(24.0)

※スタッフ数の( )は司書数

9) 開館時間は、次表のとおりである。

キャンパス	平日	土曜日	第二土曜日	日曜日
本郷	8:30-23:00	8:30-19:00	8:30-17:00	13:00-17:00
さくら	9:00-21:40	9:00-17:00	休館	休館
浦安	9:00-21:00	9:00-17:00	休館	休館
三島	9:00-20:00	9:00-17:00	休館	休館

10) 閲覧室の座席数は、次表のとおりである。

キャンパス	座席数	座席数/収容定員(%)
本郷	186	11.8
さくら	156	10.6
浦安	194	22.2
三島	67	13.6

11) 利用者には「学術メディアセンター利用カード」を作成し、入館及び貸出に供している。

各キャンパスで共通に利用でき、貸出冊数、貸出期限は一人5冊以内、2週間以内である。

12) 学術メディアセンターのホームページからアクセスできる雑誌及び電子ジャーナルは、海外21社、国内6社と契約している。Webを介してのデータベースは、「PubMed」、「医中誌Web」、「CiNii」、「Web of Science」、「JCR Web」、「Scopus」、「ClinicalKey」、「ProQuest Central」、「UpToDate Web」、「メディカルオンライン」、「メディカルファインダー」、「今日の診療Web版」、「Cochrane Library」、「最新看護索引Web」、「Academic Search Elite」、「SPORTDiscus」、「CINAHL Plus」、「Procedures CONSULT」等が利用できる。そして、「Harrison's Online」をはじめ約3,000冊の自然科学分野の電子ブックが利用でき、文献管理ソフト「EndNote Web」、「RefWorks」も導入されており、学術情報へのアクセス環境が整備されている。

13) 資料の相互貸借サービスは、国立情報学研究所NIIのNACSIS-ILLに参加し、文献の入手と提供に努めている。文献複写サービスは、関連病院や卒業生、小規模病院からの受け付けはFAXでの申し込みに対応し提供している。2016(平成28)年度の国内外の教育研究機関との相互利用状況は、次表のとおりである。

キャンパス	依頼件数	受付件数
本郷	1,878	2,026
さくら	125	284
浦安	304	82
三島	199	8

## 第7章 教育研究等環境

- 14) 明治大学中央図書館や文京区の5医学図書館間(東京大学、東京医科歯科大学、日本医科大学、文京学院大学、順天堂大学)と相互協力協定を締結し、相互に情報サービスの円滑化を図っている。
- 15) 本郷・お茶の水キャンパスでは、2011(平成23)年より機関リポジトリを構築し、学位論文の本文及び要旨をインターネット上に公開している。

### (4) 教育研究を支援する環境や条件を適切に整備し、教育研究活動の促進を図っているか。

#### 【評価の視点】

##### ○研究活動を促進させるための条件の整備

- ・ 大学としての研究に対する基本的な考え方の明示
- ・ 研究費の適切な支給
- ・ 外部資金獲得のための支援
- ・ 研究室の整備、研究時間の確保、研究専念期間の保障等
- ・ ティーチング・アシスタント (TA)、リサーチ・アシスタント (RA) 等の教育研究の活性化を支援する体制

- 1) 申請に基づき審査を経て交付される学内公募型の研究費として 2001 (平成 13) 年度から学長特別共同プロジェクト研究費を交付している。本研究費は、学部・研究科間の学際的な共同研究を促進することを目指しており、研究組織には必ず他学部・他研究科の教員を含むように条件を課している。また研究代表者の職位により審査区分を分け、前任准教授・准教授・講師を対象とした区分を A 枠、助教・助手・ポストドクター・大学院生を対象とした区分を B 枠とし、公平な競争が行われるよう一定の配慮を行っている。なお、女性研究者については申請資格を緩和し、教授職の身分を持つ者でも研究代表者として申請可能とするなど一定の配慮を行っている。申請、採択状況は次のとおりである。

区分	2016 (平成 28) 年度		
	申請数	採択数	配分金額
A 枠	6 件	3 件	1,900 千円
B 枠	24 件	11 件	7,800 千円
合計	30 件	14 件	9,700 千円

- 2) 全学的な視点から教育の内容及び体制の改善等の教育改革に取り組む優れたプロジェクトを支援するために、2013 (平成 25) 年度に学長教育改善プロジェクト費を新設した。本プロジェクトの予算は学長裁量経費として別枠で確保し、2016(平成28)年度は、学内公募により集めた11件の提案のなかから、優れた改善効果が期待される8件の提案を採択した。

(資料7-17 平成28年度 学長教育改善プロジェクトの募集について)

- 3) 研究者主導型臨床研究の支援を行い、附属6病院GCPセンターとの連携を深めるため、臨床研究支援センターを設置して「順天堂大学臨床研究支援センター運営内規」並びに関連運営要領を整備している。生物統計専門家、データマネージャー、CRC (Clinical Research Coordinator) などの人員を擁して、教育研修、研究者主導臨床研究の統計支援、データ管理、モニタリング及び監査の管理などを行っている。教育研修においては、学部・大学院での講義を通じて研究者主導試験に携わる医師・コメディカル・看護師に対する生物統計に関

## 第7章 教育研究等環境

する教育、統計的コンサルティングを行っている。なお、2017（平成29）年3月31日付で組織変更を行い、「順天堂大学臨床研究支援センター運営内規」を廃し、「順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床研究支援センター管理運営規程」及び「順天堂大学革新的医療技術開発研究センター管理運営規程」を制定している。後継組織にて臨床研究の推進・支援を行っている。

（資料7-18 順天堂大学臨床研究支援センター運営内規）

（資料7-19 順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床研究支援センター管理運営規程）

（資料7-20 順天堂大学革新的医療技術開発研究センター管理運営規程）

- 4) 大学院医学研究科には、特定の専門分野に特化し、高度な教育と研究の機能を有する附属研究所として、アトピー疾患研究センター（1998（平成10）年開設）、老人性疾患病態・治療研究センター（2000（平成12）年開設）、環境医学研究所（2002（平成14）年開設）、感染制御科学研究センター（2003（平成15）年開設）、スポーツロジックセンター（2007（平成19）年開設）、先導的がん医療開発研究センター（2013（平成25）年開設）、ゲノム・再生医療センター（2013（平成25）年開設）、静岡災害医学研究センター（2015（平成27）年開設）の8つの研究センター・研究所が設置されている。各研究センターには専任の教員を配属し、教員と共同して研究プロジェクトを推進するポストドクターや教員の指示のもとに研究を補助するリサーチ・アシスタントの受入れを積極的に行っている。

（資料7-21 平成28年度 事業報告書 「3. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター」）

- 5) 先端的教育・研究の支援活動を行う学内共同利用施設として、疾患モデル研究センター（1998（平成10）年開設）、研究基盤センター（2003（平成15）年開設）の2つの研究支援センターが設置されている。疾患モデル研究センターは、医学研究及び医学教育に欠かせない動物実験を行う施設として整備され、動物の種類に応じ特定飼育区画・特定網室の拡散防止措置を設けるなど適切な管理体制が敷かれている。研究基盤センターは、研究支援機能を持った中核施設として位置付け、異分野の研究者が協力し、幅広い視野にたった目的・目標を立て学際的なテーマで学問・研究を発展させていく場となるよう、また多様な研究分野に対する支援と研究成果を社会へ還元する発信基地として整備されている。

（資料7-22 順天堂大学動物実験等管理規則）

（資料7-23 研究施設の概要 2016）

- 6) 大学院スポーツ健康科学研究科には、2006（平成18）年12月に文部科学省補助金により「スポーツ健康医科学研究所（ハイテク・リサーチ・センター）」が設置されている。医学研究科・医療看護学研究科も参画した最先端の研究開発プロジェクトを実施している。また、2014（平成26）年8月に文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の採択を受けて、「女性スポーツ研究センター」が設置され、女性スポーツに特化した研究が展開されている。

- 7) 各学部・研究科では、教育・研究上の特性を考慮し、研究費配分に留まらず、学部・研究科独自のプロジェクト研究等の各種取組みを行っている。また、授業時間割及び定例会議開催日時を配慮し、研究に専念できる時間を確保できるようにしている。

（資料7-24 各学部・研究科の教育研究等を支援する取り組み）

- 8) 研究室については、原則として、教授には個人研究室を、准教授以下の教員には共同研究室を整備している。全学を挙げて分野融合型の共同研究を推進するため、共同研究施設である

## 第7章 教育研究等環境

各研究センター・研究所を設置している。

- 9) 本学は、大学院研究科に在籍する学生のうち成績優秀な者を、本学の学部学生や修士課程の学生に対する授業等におけるティーチング・アシスタントとして雇用している。この制度は、授業の質の向上、将来の大学教員の養成及び大学院生の経済的支援の3つの観点から設けられたものである。2016（平成28）年度は38人を任用している。

（資料7-25 順天堂大学ティーチング・アシスタントに関する規程）

- 10) 2012（平成24）年の8月より、年俸制契約職員としてリサーチ・アドミニストレーター3名を雇用し、研究者に対する研究支援を通して研究者が研究に専念できる環境の実現を目指している。なお、本学では順天堂大学リサーチ・アドミニストレーターのアルファベット頭文字からJURAと略称している。

（資料7-26 順天堂ホームページ 「研究活動」 「組織」 「研究戦略推進センター」 「URA」）

### （5）研究倫理を遵守するための必要な措置を講じ、適切に対応しているか。

#### 【評価の視点】

##### ○研究倫理、研究活動の不正防止に関する取り組み

- ・ 規程の整備
- ・ コンプライアンス教育及び研究倫理教育の定期的な実施
- ・ 研究倫理に関する学内審査機関の整備

- 1) 本学は、学術研究活動を行う上で研究者として守るべき行動の基準を明らかにし、自律的な行動を促すため「順天堂大学における学術研究活動に係る行動規範」を制定している。学生を含むすべての研究者に対し、この規程において自らの主体的な判断に基づく研究活動は、社会からの信頼と負託を前提として初めて社会的認知を得ることを理解させ、科学技術の発展には社会との対話が不可欠であるとし研究者に科学と社会との健全な関係構築を促している。

（資料7-27 順天堂大学における学術研究活動に係る行動規範）

- 2) 「順天堂大学における学術研究活動に係る行動規範」において示された倫理的基準を逸脱した行為が研究者に認められた場合、大学として取るべき手続きと再発防止への取り組みを定めた規程として、「順天堂大学における学術研究活動に係る不正行為の防止等に関する規程」を制定している。

（資料7-28 順天堂大学における学術研究活動に係る不正行為の防止等に関する規程）

- 3) 本学では研究者に利益相反の開示・報告を義務付け、利益相反マネジメント委員会により検討・審議を行う体制を構築している。なお、人を対象とする医学研究の実施時には、研究者に個人の収益等の当該研究に係る利益相反について自己申告を義務付け、医学系研究利益相反マネジメント委員会の審査を受けることを要する「順天堂大学医学系研究利益相反マネジメント規程」を制定している。

（資料7-29 順天堂大学医学系研究利益相反マネジメント規程）

- 4) 人を対象とする医学系研究については、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号。以下「本指針」という。）により求められている医学系研究の実施のため「人を対象とする医学系研究に関する倫理規程」を2015（平成27）

## 第7章 教育研究等環境

年4月1日付けで制定し、当該規程に関連するモニタリング・監査の手順書等を整備している。

(資料7-30 人を対象とする医学系研究に関する倫理規程)

- 5) 臨床研究においては、被験者の福利に対する配慮が科学的及び社会的利益よりも優先されなければならないことから、国が定めた倫理指針に基づき研究機関の倫理審査委員会が研究計画の適否について判断しなければならない。本学では、医学部・医学研究科に「順天堂大学医学部研究等倫理要綱」、「順天堂大学医学部研究等倫理要綱実施規程」、スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科に「順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱」、「順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱実施規程」、「順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱」、「順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱実施規程」、医療看護学部・保健看護学部・医療看護学研究科に「順天堂大学看護系大学院研究科及び学部に係る研究等に関する倫理委員会規程」、医学部附属病院に「順天堂大学医学部附属病院倫理委員会内規」を定め、各部門で倫理委員会を開催し事前審査を行うことにより、倫理的妥当性や安全性を確保している。医学部・医学研究科の外部委員は5名、スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科の外部委員は2名、医療看護学部・医療看護学研究科の外部委員は1名・学部外委員2名（浦安病院教授・保健看護学部准教授）、保健看護学部の学外委員は1名・学部外委員1名（静岡病院教授）である。

(資料7-31 順天堂大学医学部研究等倫理要綱)

(資料7-32 順天堂大学医学部研究等倫理要綱実施規程)

(資料7-33 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱)

(資料7-34 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱実施規程)

(資料7-35 順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱)

(資料7-36 順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱実施規程)

(資料7-37 順天堂大学看護系大学院研究科及び学部に係る研究等に関する倫理委員会規程)

(資料7-38 順天堂大学医学部附属病院倫理委員会内規)

- 6) 競争的資金等の運営・管理に関わる全ての構成員に、自らのどのような行為が不正に当たるのかを理解させるため、コンプライアンス教育（機関の不正対策に関する方針及びルール等）を実施することが文部科学省「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」で求められている。これを受けて本学では2015（平成27）年4月1日付けで「順天堂大学研究倫理に係る教育・研修要領」を制定した。倫理研修は年1回又は数回実施し、ガイドラインにおいて推奨されている e-learning による倫理教育プログラム（CITI Japan Program）を導入し、競争的資金等の運営・管理に関わる全ての構成員に対し受講を義務とした。

(資料7-39 順天堂大学研究倫理に係る教育・研修要領)

- 7) 医学部・医学研究科では、研究ノート等の活用により、研究・調査データを記録保存するとともにデータの厳正な取扱いを徹底し、不正行為（ねつ造・改ざん・盗用等）の防止に努めている。
- 8) 各学部・研究科では、研究倫理も含め、倫理教育について、計26の授業科目を開講している。

## 第7章 教育研究等環境

(資料7-40 各学部・研究科における倫理に関する科目一覧)

- 9) 医学研究科では、「順天堂大学大学院医学研究科・研究ガイドライン」も整備し、大学院における研究倫理の普及・啓発を図っている。

(資料7-41 順天堂大学大学院医学研究科・研究ガイドライン)

### (6) 教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。

#### 【評価の視点】

#### ○適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価

##### 《大学キャンパス・ホスピタル再編事業について》

- 1) 同再編事業の適切性は、理事長を議長とする再編事業推進会議(毎月1、2回開催)により検証が行われている。また、理事長を議長とする大学運営連絡協議会にて、事業の進捗にあわせて検証が行われている。学内広報誌「順天堂だより」や「事業報告書」等においても、進捗状況が報告されている。

(資料7-21 平成28年度 事業報告書 「24. 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について」)

##### 《施設・設備の維持管理について》

- 1) 施設・設備の増減に対応する維持管理方針と必要な保守契約について毎年見直しを行い、これに基づく施設・設備維持管理業務委託仕様書を作成している。
- 2) 業務委託による施設・設備の維持管理状況については日々の報告(日報)により精度管理をしている。
- 3) 施設の破損、設備の故障については発生の都度、速やかに修理する体制が整っている。

##### 《教育研究環境及びICT教育研究基盤整備について》

- 1) 大型機器導入後の利用状況については、研究基盤センター室長等会議で報告されている。冊子「研究施設の概要」に取りまとめ、関係者に配付するとともに、学内ホームページにも掲載している。
- 2) URAによる研究支援業務は、支援実績を取りまとめ研究戦略推進センター長(学長)へ報告されている。
- 3) 適正な研究遂行のために、「順天堂大学研究倫理に係る教育・研修要領」を制定し、倫理教育プログラム(CITI JAPAN プログラム)を導入した。研究に従事する教職員の履修状況を確認している。
- 4) 情報センター本部コアメンバー会議及び寄付講座「電子医療情報管理学講座」にて、附属病院の臨床データ統計解析環境整備、BI(Business Intelligence)ツールの利活用にて検証を行っている。

(資料7-42 第41回 情報センター本部コアメンバー会議(平成28年11月))

##### 《各学部・研究科における教育研究等環境》

#### 〈1〉 医学部

- 1) 教育研究環境整備については、教務委員会が中心となり、各講座・研究室等から申請された学生教育用機器に関して、審査・選定を行い、教授会において審議している。

(資料7-43 医学部 教務委員会議事録(平成28年7月))

#### 〈2〉 スポーツ健康科学部・大学院スポーツ健康科学研究科



## 第7章 教育研究等環境

- 1) 毎年5月に実験実習用機器、研究用機器について購入調査を行い、各学科長の第1次審査の後、学部長、研究科長、教務委員長、研究委員長にて最終審査を行っている。前年に購入した機器が有効に利用されているかどうかを確認すべく5月に報告書の提出を義務付けている。  
(資料7-44 平成27年度購入の実験実習用機器・研究用機器実績報告書)
- 2) 毎年9月ないし10月に学部、大学院でそれぞれ「学生生活実態調査」、「大学院学生生活アンケート」実施し、フリーコメントにて教育研究環境を含めた生の声を集約している。  
(資料7-45 学生生活実態調査票(フリーコメント欄)及びフリーコメント一覧)

### 〈3〉 医療看護学部

- 1) ICT教育研究基盤設備を含む教育研究等環境は、毎年実施している学生実態調査結果等を参考にしつつ、教務委員会、実習委員会、学生部委員会、研究委員会、ネットワーク・ホームページ委員会、学術メディアセンター委員会等が連携し検証を行い、教授会に報告している。  
(資料7-46 平成27年度医療看護学部学生実態調査 各委員会から学生への回答)  
(資料7-47 平成28年度医療看護学部学生実態調査 各委員会から学生への回答)  
(資料7-48 平成28年度第2回ネットワーク・ホームページ委員会議事録)

### 〈4〉 保健看護学部

- 1) 教育研究装置・設備の整備は、教務委員会で審査・選定を行い学部長決裁の上、進めている。
- 2) 3階実習室(1)の効率的な活用をするために、3枚の可動式カーテンで仕切り、異なる領域で同時に使用できるような整備を行った。また、実習室に配置する備品を教育装置として希望を募り、教務委員会で審議し学部長決裁の上、購入し設置した。  
(資料7-49 平成28年度教育装置購入物一覧)  
(資料7-50 保健看護学部 教授会議事録(平成27年12月))  
(資料7-51 保健看護学部 教授会議事録(平成29年1月))

### 〈5〉 国際教養学部

- 1) 教育研究環境の適切性については、学生部委員会・教授会により検証が行われている。学生部委員会では、学生代表が出席しており、意見・要望を確認している。  
(資料7-52 国際教養学部 学生部委員会議事録(平成28年5月))  
(資料7-53 国際教養学部 学生部委員会議事録(平成28年11月))

### 〈6〉 大学院医学研究科

- 1) 研究戦略推進センターにて「研究施設の概要」を策定し、毎年度、発行している。研究施設の設備、サービス内容は年度毎に確認している。
- 2) 学内予算による研究用機器や文部科学省研究設備等補助金による大型の装置・設備については、申請の段階で、その必要性や共用性の観点を考慮し、選考されている。共同利用を目的とする研究基盤センター分は研究基盤センター室長等会議にて審議し、その後、医学部・医学研究科分をあわせて医学部研究委員会が全体の選考を行い、整備されている。  
(資料7-54 研究基盤センター室長等会議議事録(平成28年5月))  
(資料7-55 医学部研究委員会議事録(平成28年6月))  
(資料7-56 研究基盤センター室長等会議議事録(平成28年9月))  
(資料7-57 医学部研究委員会資料(平成28年12月))
- 3) 研究の活性化を目的としてプロジェクト研究費については、毎年3月に研究成果の報告書を求めている。

## 第7章 教育研究等環境

### 〈7〉 大学院医療看護学研究科

1) 教育研究等環境については、研究科委員会をはじめ各種委員会が連携し検証を行っている。研究科委員会を含む各種委員会の審議事項は必要に応じて教授会にも報告され、キャンパス全体の教育研究等環境を向上させるべく学部・研究科間での情報共有を図っている。また、大学院自習室、大学院研究室、授業で使用する演習室や遠隔配信などの ICT 装置や設備等については、各院生の研究指導教員からの意見や情報等を踏まえて点検を行っている。

(資料 7-58 医療看護学研究科委員会議事録(平成 27 年 5 月))

(資料 7-59 医療看護学研究科委員会議事録(平成 28 年 9 月))

## 2. 点検・評価

[基準 7]

大学は、自ら掲げる理念・目的を実現し、学生の学習及び教員による教育研究活動を十分に行うことができるよう、教育研究等環境の整備に関する方針を明確にし、その方針に沿って学習環境や教育研究環境を整備し、これを適切に管理運営しなければならない。

### ●基準 7 の充足状況

大学キャンパス・ホスピタル再編事業は、順調に進捗している。大学の校地・校舎面積は大学設置基準を満たし、建物の耐震化も進んでいる。「順天堂大学 ICT 化戦略」に基づき ICT 化教育基盤整備が進められ、図書館、学術情報サービスも充実が図られ、学生・教員の利便性を向上させている。

文部科学省補助金を活用して、最先端の装置・設備を導入しており、持続的に教育研究成果を生み出せるようにしている。URA 等の研究支援専門職を配し、研究者が研究に専念できる環境を整備している。TA や RA も雇用されており、教育研究支援体制の整備が進められている。各種プロジェクト研究が公募され、共同研究を推奨する仕組みが出来ている。研究倫理に関する各種規程が整備され、学内審査が適切に運営されている。以上のことから、基準を満たしている。

### ①効果があがっている事項

#### 《大学キャンパス・ホスピタル再編事業について》

1) 大学キャンパス・ホスピタル再編事業は、2016 (平成 28) 年度で 9 年を経過したが、当初方針の通り原資を手元資金で賄うことにより、財務状況に影響を与えることなく順調に推移している。本郷・お茶の水キャンパスにおいては、1 号館・4 号館・B 棟・C 棟・D 棟を「病院ゾーン」、10 号館・新研究棟(A 棟)を「研究・実習ゾーン」、センチュリータワー・第 2 教育棟(仮称)を「法人本部・教育ゾーン」に位置づけ、計画通り整備事業が行われており、延床面積は、昭和 62 年の本館(1 号館)建設前に比し、2016(平成 28)年度には、約 3 倍となった。

(資料 7-60 本郷・お茶の水キャンパス再編事業構想図)

(資料 7-61 本郷・お茶の水キャンパス延床面積の推移)

#### 《施設・設備の維持管理について》

1) 積極的な省エネ投資計画を実施中であり、単位床面積当たりのエネルギー使用量=CO<sub>2</sub>排出量は減少している。

(資料 7-62 設備投資によるエネルギー使用合理化計画)

## 第7章 教育研究等環境

(資料7-63 エネルギーの使用に係る原単位の推移)

- 2) 大学キャンパス・ホスピタル再編事業により本郷・お茶の水キャンパスの大学用途建物群における主要建物の耐震化は完了した。

### 《教育研究環境及び ICT 教育研究基盤整備について》

- 1) 競争的資金の獲得戦略の立案、補助金の申請書作成、研究成果の広報等の業務を研究者と連携して行う URA の採用により、研究者の研究活動時間の確保と科学研究費助成事業をはじめとした公的研究費等の外部資金の獲得に効果を発揮している。
- 2) 臨床研究支援センターでは、研究者主導型臨床研究推進のために CRC、データマネージャー、生物統計家、研究事務局等の人員を擁し、データ集積管理システム REDCap を運用して、臨床研究支援体制を整備している。

(資料7-64 臨床研究支援センター月例会議資料 2017年3月臨床試験支援室)

- 3) 2015(平成27)年10月7日、センチュリータワー南棟11階に医療スキルや多職種間でのチーム医療のトレーニングを目的とする「Juntendo Medical & Technology Simulation Center」を開所した。
- 4) 「順天堂大学 ICT 化戦略」に沿って、2009(平成21)年度取得のセンチュリータワーを本郷・お茶の水キャンパスにおける教学部門の拠点として ICT 教育研究基盤を整備した。本年度まで遠隔講義システムを継続して整備し、5学部6附属病院が海外へ向けて教育・研究・医療の情報発信が行える環境となった。この積極的な取り組みにより、学内外・国内外へ向けた教育・研究・医療の情報交流及び発信の機会が増えている。また教職員及び学生の情報交流促進のためポータルサイトであるポートフォリオシステムを2012(平成24)年にさくらキャンパス及び浦安キャンパス、2014年(平成26)年に本郷・お茶の水キャンパス、2016年(平成28)年に三島キャンパスへ導入を行い教職員・学生間の連携が促進、窓口対応負荷も軽減・業務効率化に繋がっている。

(資料7-65 順天堂遠隔会議実施実績)

(資料7-66 ポータルサイト・ポートフォリオシステム実績)

### 《各学部・研究科における教育研究等環境》

- 1) 医療看護学部では、2015(平成27)年12月にD棟(大教室棟)及びE棟(演習室棟)が竣工した。テレビ会議システムを備えた教室・演習室が3室増え、浦安キャンパスと本郷・お茶の水キャンパス、三島キャンパスを繋いだ遠隔講義等に活用されている。
- 2) 医療看護学部では、ICT 教育研究環境整備を順次進めており、2015(平成27)年度、グループ学習・自己学習効果を高めるため、新マルチメディア教室をアクティブ・ラーニングのスペースとして整備し、学生の利用率が向上した。また分娩介助、参加救急、妊婦ケア演習、乳児の集中治療・ケアなど、周産期医療・小児救急医療についての様々な状況をリアルに再現した高度なシミュレーショントレーニングが行える ICT 教育システムを整備した。
- 3) 国際教養学部では、学生の主体的な学びを支援する言語学習センターを開設時から整備し、自己学習、教員によるカウンセリング、外国語によるコミュニケーションの場として活用している。就職・キャリア支援室を第二教育棟5階に設置し、学生の就職サポートを行っている。同室は月～金の10:00～18:00開室し、常駐のキャリアカウンセラー(就職活動相談員)が学生のキャリア相談に対応している。室内には就職・キャリアに関連する文献・DVDを設置し、閲覧・貸出を行っている。また、キャリアカフェ等の学生が気軽に参加可能な就

## 第7章 教育研究等環境

職関連イベントや就職支援講座も主催している。

(資料7-67 言語学習センターの使い方)

- 4) 大学院医学研究科では、2014 (平成 26) 年 11 月より、CITI Japan ON スクリーン e ラーニング講座に受講登録をし、大学院生においては時間及び場所は問わず、研究倫理について体系的に学ぶことができるようにしている。また研究倫理についてより一層体系的に修得させるため、2015 (平成 27) 年度より、各課程・学年にて設定した大学院低学年コース及び大学院高学年コースの受講を必須とした。
- 5) 大学院医療看護学研究科では、ICT によるテレビ会議システムの導入により浦安キャンパス、本郷・お茶の水キャンパス、三島キャンパスの 3 拠点において遠隔講義を実施できる環境を整備し、相互に受講できる仕組みを取り入れている。
- 6) 大学院医療看護学研究科では、2015 (平成 27) 年度より、CITI Japan ON スクリーン e ラーニング講座に受講登録をし、倫理審査申請にあたっては事前の受講を必須とするなど、研究倫理に関する教育を推進している。

### ②改善すべき事項

#### 《施設・設備の維持・管理について》

- 1) 障がいの有無にかかわらず、等しく学び、充実した学生生活を送ることができる環境を整備していく必要がある。

#### 《教育研究環境及び ICT 教育研究基盤整備について》

- 1) 臨床研究支援センターの研究者主導型臨床研究支援体制では、生物統計家とデータマネージャーの欠員が生じており、その補充が必要である。また、REDCap システムは本郷・お茶の水キャンパス内の研究者しかアクセスできず、多施設共同研究支援を行うには不十分である。  
(資料7-68 臨床研究支援センター月例会議資料 2017 年 3 月事務局)
- 2) 教職員による ICT 機器のより一層の活用が課題である。一例として、紙資料ベースの講義形態が多く、モバイル、ペーパーレス対応として導入した資料配布システムの活用がまだ十分に進んでおらず、デジタルコンテンツ活用が不十分である。
- 3) 附属病院の臨床の画像・映像及びデータについて、学生教育への活用に向けた基盤整備が必要である。

#### 《各学部・研究科における教育研究等環境》

- 1) 国際教養学部では、就職支援に向け、体制や関係資料を更に充実させることが課題である。

## 3. 将来に向けた発展方策

### ①効果があがっている事項

#### 《大学キャンパス・ホスピタル再編事業について》

- 1) 今後、本郷・お茶の水キャンパスでは、新研究棟(A 棟)の建設並びに B 棟、C 棟完成後の病院機能の移転・再編に伴う 1 号館外来部門・病棟部門の再編のための改修工事を予定している。

#### 《施設・設備の維持・管理について》

- 1) 省エネを更に推進するために、PDCA サイクルに基づく検証を行っている。細部にわたる実施検証データを基に計画の再検討を行い、投資効果の最適化を図る。また、照明の LED 化、熱

源の高効率化、動力のインバーター制御化などハード面の省エネ投資を継続するとともに、使用者への啓蒙を進める。

- 2) 主要建物の耐震化は完了したが、非構造部材の耐震化が一部建物について必要であるため計画的な実施を目指す。また、新規取得した中小建物の一部に旧耐震建物が存在するが、数年以内に取壊しの予定となっている。

(資料7-69 平成28年度私立学校校舎等実態調査票)

### 《教育研究環境及び ICT 教育研究基盤整備について》

- 1) 本学の研究力が強化されてきた背景には、基礎的・基盤的研究への地道な財政支援と人的支援がある。財政支援は、一律配分型の学内研究費と学内公募型のプロジェクト研究費により行われ、人的支援は URA やポストドクター等の研究補助者の採用により行われてきた。今後は、URA の人数を増やし、助成金募集情報の提供や申請書作成支援に加え、イノベーションの担い手となる若手研究者の発掘や大型プロジェクトの企画立案に、より一層注力するなど、人的支援を拡充していく。
- 2) 臨床研究支援センターで支援している大規模多施設共同研究者主導型臨床研究については、研究会等の開催、ニュースレターの発行により研究登録状況等を報告し、症例登録を促した結果、ほぼ目標に近い症例が登録されている。引き続き統計的解析等を行い、更なる学会・論文発表を支援していく。
- 3) 「Juntendo Medical & Technology Simulation Center」では、協力覚書を締結したロシアのカザン連邦大学、理化学研究所、本学の3機関でシミュレーション機器ソフトや教育プログラムの共同開発を進め、本学の学生、医学部附属6病院の医療スタッフはもとより、アジアをはじめとする諸外国の医療機関に対してもシミュレーショントレーニングの機会を積極的に提供していく。
- 4) 遠隔システムの臨床現場への適用を積極的に図っていく。手術室やカンファレンス室から国内外の教育・研究機関に最先端医療を発信する環境を活用していく。これにより学生教育用コンテンツの蓄積にもつながる。ポートフォリオシステムについては、全学展開が完了し、更なる教職員業務効率化を図っていく。

### 《各学部・研究科における教育研究等環境》

- 1) 医療看護学部では、2015(平成27)年12月にD棟(大教室棟)及びE棟(演習室棟)が竣工し教室が2室、演習室が9室新たに整備された。演習やグループワーク等のアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、学生の主体的な学修を更に支援していく。
- 2) 医療看護学部では、引き続き、ICT教育環境の整備を進め、教員FDとともにICTを駆使した教育により、一層の教育効果を上げられるようにする。
- 3) 国際教養学部では、言語学習センターでの学生の自己学習、教員によるカウンセリング、外国語の課外授業の充実を図るとともに、今後、e-learning教材や多読用書籍等を増やし、学生の主体的な学びを更に支援していく。就職・キャリア支援室については、今後初年度入学生の就職活動が本格化していくが、その利用やキャリア相談の増加が確実に見込まれ、就職・キャリアに関連する文献を更に充実し、学生の就職支援を充実させていく。
- 4) 大学院医学研究科では、CITI Japan ON スクリーン eラーニング講座について、各課程・学年にてコースを設定しているが、各課程・学年に関係なく、研究を進めていく上で必要な単元(必須、オプションを問わず)については積極的に受講するよう促していく。

## 第7章 教育研究等環境

- 5) 大学院医療看護学研究科では、ICTによる遠隔講義を実施することにより、静岡病院・保健看護学部を含む静岡県地区での大学院進学希望者にとって学修しやすい環境となった。今後は、遠隔講義に対応した講義を増やすことにより、大学院生の受講機会の増加及び時間的・経済的負担軽減を図っていく。
- 6) 大学院医療看護学研究科においては、CITI Japan ON スクリーン e ラーニング講座受講を推進し、研究倫理について体系的に修得させる。

### ②改善すべき事項

#### 《施設・設備の維持・管理について》

- 1) バリアフリーへの対応として、車いす対応の動線整備、トイレ環境の充実、バリアフリーマップの整備公表などを今後進めていく。

#### 《教育研究環境及び ICT 教育研究基盤整備について》

- 1) 臨床研究支援センターの研究者主導型臨床研究の支援体制のうち、欠員となっている生物統計家とデータマネージャーの補充を行い、体制の整備を行う。また、REDCap システムについては、多施設共同研究に対応できるよう、情報センターと協議して整備を行う。
- 2) 教職員による ICT 利活用については、大学の講義環境のモバイル化、ペーパーレス化を図り、デジタルコンテンツを活用するため、既存の資料配布システム等の教職員による利活用を標語作成などの広報活動によって推進していく。先ずは、毎月開催の医学部教授会での利用を開始した。広報活動を実施し、国際教養学部での活用について教務課と協議中である。国際教養学部での活用を経て他学部へも利用を広げて行くことを検討している。

(資料 7-70 医学部教授会資料ダウンロード手順書)

- 3) 附属病院の臨床の画像・映像及びデータの学生教育への活用に向けての基盤整備については、附属病院グループの臨床データの統計解析を行える BI (Business Intelligence) ツールを導入し、学生教育への臨床データ活用基盤の整備を図っていく。病院に蓄積されたデータを活用し、学生教育の質の向上と臨床現場へのフィードバックにより、診療の質の向上を目指す。2016 (平成 27) 年 5 月の医療情報システム更新にあわせて、BI ツールの導入を行った。BI ツールの導入により、病院に蓄積された臨床データの多角的な分析、リアルタイムなデータ集計・報告が実施できるようになった。具体的な活用についてはこれからであるが、病院 QI (クオリティ・インディケータ) 集計や二次利用データ集計への適用を検討している。

(資料 7-71 AMED 臨床研究等 ICT 基盤構築研究)

#### 《各学部・研究科における教育研究等環境》

- 1) 国際教養学部では、キャリア支援委員会において、キャリア支援体制や必要とされる関係資料の検討を行っているが、実際のキャリア支援を通じた学生の意見も参考にし、キャリア支援を充実させていく。

## 第 7 章 教育研究等環境

### 4. 根拠資料

根拠資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
資料 7-1	総務 7-1	順天堂ホームページ 「情報公開(基本情報)」 「各種方針」 「教育研究等環境の整備に関する方針」 <a href="http://www.juntendo.ac.jp/about/information/policy.html">http://www.juntendo.ac.jp/about/information/policy.html</a>
資料 7-2	情 7-1	順天堂大学 ICT 化戦略
資料 7-3	総務 7-2	各学部・研究科の教育研究等環境整備方針
資料 7-4	研戦 7-1	平成 28 年度 教育・研究装置及び教育基盤・研究設備一覧
資料 7-5	総務 7-3	各学部・研究科の教育研究等環境整備概要
資料 7-6	情 7-2	情報倫理ガイドライン
資料 7-7	情 7-3	学校法人順天堂情報セキュリティポリシー
資料 7-8	情 7-4	学校法人順天堂個人情報保護に関する基本方針
資料 7-9	情 7-5	情報システム利用に伴う危機対応マニュアル
資料 7-10	情 7-6	順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス学術ネットワーク運営内規
資料 7-11	情 7-7	順天堂大学ソーシャルメディア利用ガイドライン
資料 7-12	学メ 7-1	本郷・お茶の水キャンパス学術メディアセンター利用案内
資料 7-13	学メ 7-2	さくらキャンパス学術メディアセンター利用案内
資料 7-14	学メ 7-3	浦安キャンパス学術メディアセンター利用案内
資料 7-15	学メ 7-4	三島キャンパス学術メディアセンター利用案内
資料 7-16	学メ 7-5	図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況
資料 7-17	I R 7-1	平成 28 年度 学長教育改善プロジェクトの募集について(既出 資料 3-37)
資料 7-18	臨支 7-1	順天堂大学臨床研究支援センター運営内規
資料 7-19	臨支 7-2	順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床研究支援センター管理運営規程
資料 7-20	臨支 7-3	順天堂大学革新的医療技術開発研究センター管理運営規程
資料 7-21	総務 7-4	平成 28 年度 事業報告書(既出 資料 2-2、資料 4-3-50)
資料 7-22	研戦 7-2	順天堂大学動物実験等管理規則
資料 7-23	研戦 7-3	研究施設の概要 2016(既出 資料 2-10)
資料 7-24	総務 7-5	各学部・研究科の教育研究等を支援する取り組み
資料 7-25	研戦 7-4	順天堂大学ティーチング・アシスタントに関する規程(既出 資料 3-25)
資料 7-26	研戦 7-5	順天堂ホームページ 「研究活動」 「組織」 「研究戦略推進センター」 「URA」 <a href="http://www.juntendo.ac.jp/research/organization/jura/staff.html">http://www.juntendo.ac.jp/research/organization/jura/staff.html</a>
資料 7-27	研戦 7-6	順天堂大学における学術研究活動に係る行動規範
資料 7-28	研戦 7-7	順天堂大学における学術研究活動に係る不正行為の防止等に関する規程
資料 7-29	研戦 7-8	順天堂大学医学系研究利益相反マネジメント規程
資料 7-30	研戦 7-9	人を対象とする医学系研究に関する倫理規程

第7章 教育研究等環境

根拠資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
資料7-31	研戦7-10	順天堂大学医学部研究等倫理要綱
資料7-32	研戦7-11	順天堂大学医学部研究等倫理要綱実施規程
資料7-33	研戦7-12	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱
資料7-34	研戦7-13	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱実施規程
資料7-35	研戦7-14	順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱
資料7-36	研戦7-15	順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱実施規程
資料7-37	研戦7-16	順天堂大学看護系大学院研究科及び学部に係る研究等に関する倫理委員会規程
資料7-38	研戦7-17	順天堂大学医学部附属病院倫理委員会内規
資料7-39	研戦7-18	順天堂大学研究倫理に係る教育・研修要領
資料7-40	総務7-6	各学部・研究科における倫理に関する科目一覧
資料7-41	院医7-1	順天堂大学大学院医学研究科・研究ガイドライン
資料7-42	情7-8	第41回 情報センター本部コアメンバー会議(平成28年11月)
資料7-43	医7-1	医学部 教務委員会議事録(平成28年7月)
資料7-44	ス7-1	平成27年度購入の実験実習用機器・研究用機器実績報告書
資料7-45	ス7-2	学生生活実態調査票(フリーコメント欄)及びフリーコメント一覧
資料7-46	医看7-1	平成27年度医療看護学部学生実態調査 各委員会から学生への回答
資料7-47	医看7-2	平成28年度医療看護学部学生実態調査 各委員会から学生への回答
資料7-48	医看7-3	平成28年度第2回ネットワーク・ホームページ委員会議事録
資料7-49	保看7-1	平成28年度教育装置購入物一覧
資料7-50	保看7-2	保健看護学部 教授会議事録(平成27年12月)
資料7-51	保看7-3	保健看護学部 教授会議事録(平成29年1月)
資料7-52	国教7-1	国際教養学部 学生部委員会議事録(平成28年5月)(既出 資料6-55)
資料7-53	国教7-2	国際教養学部 学生部委員会議事録(平成28年11月)
資料7-54	研戦7-19	研究基盤センター室長等会議議事録(平成28年5月)
資料7-55	研戦7-20	医学部研究委員会議事録(平成28年6月)
資料7-56	研戦7-21	研究基盤センター室長等会議議事録(平成28年9月)
資料7-57	研戦7-22	医学部研究委員会資料(平成28年12月)
資料7-58	院看7-1	医療看護学研究科委員会議事録(平成27年5月)
資料7-59	院看7-2	医療看護学研究科委員会議事録(平成28年9月)
資料7-60	再編7-1	本郷・お茶の水キャンパス再編事業構想図
資料7-61	再編7-2	本郷・お茶の水キャンパス延床面積の推移
資料7-62	施設7-1	エネルギー使用の合理化に係る中長期計画
資料7-63	施設7-2	エネルギーの使用に係る原単位の推移
資料7-64	臨支7-4	臨床研究支援センター月例会議資料2017年3月臨床試験支援室
資料7-65	情7-9	順天堂遠隔会議実施実績
資料7-66	情7-10	ポータルサイト・ポートフォリオシステム実績



## 第 7 章 教育研究等環境

根拠資料No.	各部署の 資料整理No.	資料名称
資料 7-67	国教 7-3	言語学習センターの使い方
資料 7-68	臨支 7-5	臨床研究支援センター月例会議資料 2017 年 3 月事務局
資料 7-69	施設 7-3	平成 28 年度私立学校校舎等実態調査票
資料 7-70	情 7-11	医学部教授会資料 ダウンロード手順書
資料 7-71	情 7-12	AMED 臨床研究等 ICT 基盤構築研究